

KYOTO AGORA2022 グループ3 環境・循環系から未来を見る勉強会

半場祐子◎布施泰朗○・北川石英○ 高橋和生○ 武石直樹 山田重之 三宅 祐輔

概要と目的

●微細なプラスチックごみの総称である「マイクロプラスチック」は、近年、水域生態系において深刻な環境問題となっている。しかし、マイクロプラスチックについては、微量であることから捕集技術が確立されておらず、生態系内における定量化が困難である。また、生体への影響についても、必ずしも明らかになっていない。

●本勉強会では、マイクロプラスチックが生体に与える影響について学ぶとともに、マイクロプラスチック捕集や生態系内・生体内における定量分析のための新たな技術開発の可能性を探ることを目的とする。

到達目標

●マイクロプラスチックの由来や生態系への影響について勉強会を開催し、現時点で明らかになっていること、今後の課題などを明確化する。

●マイクロプラスチックが生体に与える影響について、勉強会を通じて現時点での知見をまとめるとともに、数値シミュレーションなども使いながら調査を行う。

●生体におけるマイクロプラスチック存在量について、定量化の方法を探索し、方向性を見出す。

実施内容

勉強会の開催

2023年3月8日 12時～13時 (2号館444号室)

- 3月24日 12時～13時 (2号館444号室)
- 9月25日 10時～12時 (Plaza KIT)

参考書籍の回覧 (2023.9.～)

岩田 忠久 (著, 監修) 海洋汚染問題を解決する生分解性プラスチック開発: 分解性評価から新素材まで エヌ・ティー・エス出版 2023

講演会の開催

日時: 2023年11月10日 (金) 14:30～17:15

- 会場: 13号館 4階 多目的室
- 定員: 40名、要事前登録
- 布施先生を中心にさまざまな研究費へ申請している

Agora

1st 「環境・循環系から未来を見る勉強会」 ーマイクロプラスチックー

日時 2023年11月10日（金）
14:30-17:15

会場 本学 13号館 4階 多目的室

定員 40名 要事前登録
登録期限：11月8日（水）

参加資格 本学教職員

参加を希望される方は、こちらからご登録ください。



<https://forms.gle/9VPI7RQtjvz7MI6M8>

海洋性プラスチック問題の重要性が指摘され、真に地球規模で海洋プラスチックを減少させるという観点から、国内対策の加速化に加え、途上国を巻き込んだ対策・施策を国際社会にも打ち出していくことが不可欠とされています。2019年には海洋性プラスチック削減に向けた初の国際枠組みの構築を目指して、日米欧と新興国の20カ国・地域(G20)エネルギー・環境関係閣僚会合が日本で開催され、海洋性プラスチックや海を漂う間に砕かれてできる微粒子サイズのマイクロプラスチックが生態系などに与える悪影響が指摘され、「緊急行動」が求められました。本勉強会では、マイクロプラスチックに関わる現状と課題について、それぞれの分野で活躍されている先生方をお招きし、ご講演いただきます。その後、参加者との意見交換会を通じ、本学の様々な分野の研究者が連携して取り組む研究シーズを探索します。

多数のご参加をお待ちしています。

- 14:35 - 15:15 **田中周平氏**
京都大学地球環境学堂 准教授
マイクロプラスチックに関する最新の研究事例と世界各国の規制の動向、海外の研究者による研究事例を紹介
- 15:15 - 15:55 **相子伸之氏**
大阪府立環境農林水産総合研究所 主幹研究員
淀川、大阪湾のMPs汚染状況、二枚貝を使った環境中MPsの影響評価など実態調査や生物への取り込み機構について紹介
- 15:55 - 16:35 **田中仁志氏**
埼玉県環境科学国際センター 水環境担当 担当部長
埼玉県河川のMPs汚染状況、指標生物を基としたMPsの影響評価、農地におけるMPsの動態と影響などを紹介
- 16:40 - 17:15 **総合討論**
- 17:30 - 18:30 **懇談会** プラザKIT 参加費 2,500円